

例会報告

2022-2023年度 ガバナー公式訪問合同例会および合同クラブ協議会

日時 令和4年8月23日（火曜日）

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:30点鐘

国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」

ゲスト： 柏南ロータリークラブ会長 吉川末満様

国際ロータリー第2790地区ガバナー 小倉純夫様

国際ロータリー第2790地区幹事 大原哲也様

国際ロータリー第2790地区幹事 木村健二様

国際ロータリー第2790地区第11グループ ガバナー補佐 猫田岳治様

国際ロータリー第2790地区第11グループ ガバナー補佐幹事 小林亘様

米山奨学生 楊婷(ヨウ テイ) 様

ビジター： なし

S.A.A.： 柏南RC S.A.A.米谷昌紀様

会長挨拶

我孫子ロータリークラブ 藤本会長



本日はガバナーの小倉様、地区幹事の大原様、木村様、ガバナー補佐の猫田様、ガバナー補佐幹事の小林様、おいでいただきまして誠にありがとうございます。

先ほど、我孫子クラブ、柏南クラブと小倉ガバナーと懇談会を持ちまして、小倉ガバナーよりアドバイスをいただきました。ありがとうございました。

本日は合同で開催ですので両クラブの会員の皆様、ぜひ交流をはかり意義のある例会、協議会にしていただけたらと思います。

また、本日、当我孫子クラブのビジターとして木村政照様にお越しいただいています。よろしくお願いいたします。



幹事報告

柏南ロータリークラブ 山口幹事



本日は報告はございません。

卓話

国際ロータリー第2790地区ガバナー 小倉純夫様



ただいまご紹介いただきました本年度、当地区第2790地区ガバナーの、松戸ロータリークラブ所属の小倉と申します。

合同例会はいろんなクラブの交流の場として是非どんどん企画していただきたいと思っています。同じ11グループだけでなく、グループを離れた合同例会もよいと思います。

地区大会が10月に行われますが是非参加してください。大懇親会を企画していたのですが、それは残念ながらできませんでした。物販店を企画しておりますので、是非お店を出していただければと思っています。よろしくお願いいたします。

レジメと資料をお配りしました。

2022~2025ロータリー第2790地区戦略計画(草案)と、「人が生きると言う事は」とい

う詩と、「これからのロータリーを考える～本年度R Iテーマと地区活動方針について～」です。

「人が生きると言う事は」という詩は永六輔さんが作った詩と言われているようなのですが、松戸ロータリークラブの土屋亮平さんが卓話で話してくださった詩で私は大変いい詩だと思っています。

2022～2025ロータリー第2790地区戦略計画（草案）については10月の地区大会で皆様のご意見を伺いたいと思っています。

「これからのロータリーを考える～本年度R Iテーマと地区活動方針について～」についてです。

2022年度のジェニファー・ジョーンズ氏はR I初の女性会長です。本年度テーマは「イマジン ロータリー」です。初めはわかりにくいと私は思いましたが、考えてみるとロシアとウクライナの紛争が起きた今年のテーマにふさわしかったと思います。地域によりよい変化を起こしましょうと呼びかけています。

ロータリーの基本は親睦と奉仕です。

ガバナーの任務・役割については、DLP、CLPを活用し、クラブの現状をよく理解し、課題を克服していただければと思います。

前年度、前々年度のグループ再編問題、ガバナー補佐任命問題がありました。グループ再編については80クラブ中40クラブ位、半分のクラブが反対ということでした。

ガバナー補佐任命問題についても反発がありました。長い慣習、慣例を短期間に変えるという事は大変難しいということを実感しました。地区とクラブのコミュニケーションが不十分でした。そういう意味でも親睦の大切さを再確認しました。

コロナの第7波が来てしまい、親睦活動や奉仕活動が停滞しました。会員が減少しないように楽しい例会を目指したいと思っています。

ロータリーは元々親睦と相互扶助から出発しましたが、社会奉仕の考えも持つようになりました。

ロータリーとは、職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集りです。

決議23-34を我孫子クラブさんは活動計画書に載せていらっしゃる。これはロータリー発足当時からあった理念派と実践派の両方の考え方をうまく折衷するような考えです。

ロータリーの魅力とは何か。簡単に言うと、他人に思いやりを持って行動しようよ、ということだと思います。

ただこういう日本の考え方はガラパゴス化しているのだろうか、という考えがあります。アメリカでは職業奉仕という考えはないようです。

土屋パストガバナー はロータリアンが100人いれば100通りのロータリーがあつていい、とおっしゃっています。私も全く同感です。こうでなきゃいけない、というのはないと思います。皆さん、どうお考えでしょうか。

ロータリーはこの20年で相当変化していると思います。2001年には1業種1会員制の撤廃、2013年には職業のない人の入会資格が認められました。

2016年、2019年の規定審議会では柔軟性が採用されました。

これからのロータリーについて。

ロータリーの目的、四つのテストは変わらないだろうと思います。

今年のロータリーはDEI（多様性、公平性、包摂性）を提唱しています。

日本は女性会員をどれだけ増やしていけるかが課題だと思います。

未来の形成委員会というものがあり、ガバナー制度をなくして新しい制度を作っていこうという考えがあります。2つのパイロット地区、オーストラリアとイギリスで実施されることが今年4月の規定審議会で決議されました。

アフターコロナの新しいロータリーはどうあるべきか。クラブは多様化していくと言われています。

最後に、詩を朗読させていただいて終わろうと思います。

人が生きると言う事は
誰かに借りをつくること

その借りを返していくこと
誰かにしてもらったように
誰かにしてあげること

人が生きるという事は
誰かと手を繋ぐこと
その手のぬくもりを忘れないでいくこと
巡り会い愛し合いそして別れた後に
悔まないよう今日明日を生きよう

人はひとりで生きていけない
人はひとりで歩んでいけない

これはロータリーの精神ではないかと思います。

他クラブとのコミュニケーション、信頼関係をもう一度立て直したいと思っています。クラブ協議会等も活動計画書を委員長さんが読み上げるだけではなく、いろんなご意見を伺って、意見交換ができればと思います。皆さんの率直なご意見を伺って、よりよいクラブ運営に生かしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

閉会の辞・点鐘

柏南ロータリークラブ 吉川会長

これを持ちまして、2022-2023年度ガバナー公式訪問合同例会を閉会といたします。



【合同クラブ協議会】

開会の言葉

我孫子ロータリークラブ 藤本会長

これより柏南クラブ、我孫子クラブの合同クラブ協議会を開催いたします。

第一部

会長方針

柏南ロータリークラブ 吉川会長



本日は大変お忙しい中、小倉ガバナー、大原地区幹事、木村地区幹事、猫田ガバナー補佐、小林ガバナー補佐幹事の皆様、我孫子ロータリークラブおよび柏南ロータリークラブの合同例会に御立席賜りまして厚く御礼申し上げます。

柏南ロータリークラブの会長方針を発表するお時間を少し頂きたいと思います。

当クラブは会員の皆様が楽しんで参加できる風通しの良いクラブ運営を目指したいと思っています。

現在36名の会員を40名、45名に会員増強できたらと思っています。

当クラブは昔から地域の独居老人を対象に民生委員と共に安否確認を兼ねてお花配りをしています。訪問先の皆様が大変喜んでおられましたので、これは長く続けていくべきことと思います。

地域を超えたロータリーの社会奉仕として米山奨学金、ポリオ撲滅運動、ケニア母子健康支援活動等も考慮しながら、世界平和への貢献も視野に入れながら活動するべきだと考えます。

私たちロータリアンは社会奉仕をするために会員増強が必要だと思っています。社会奉仕というのは地域に対するもの、社会全体に対するもの、世界に対するものがあります。

ロータリアンとして会員一人一人を大切に、その結果ロータリー全体として社会のために何をすべきかを考え行動することが大切だと思っています。会員の皆様のお力添えをいただき、ご意見を集約して行動していきたいと考えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

会長方針

我孫子ロータリークラブ 藤本会長



積極的に参加できる風通しのよいクラブ作りをしていきたいと考えています。

小倉ガバナーもおっしゃっていましたが、新しく入会されたばかりの方への手厚いフォローが必要だと思っています。

私はロータリークラブというのは大変奥が深いと痛感しています。

身内の方も例会に積極的に参加されるように促したいと思っています。ロータリーって何をやっているの?と家族に聞かれ、娘を一度例会に連れてきました。娘なりにロータリーについて感じ取ったものがあり友達に話したそうです。

例会の欠席者に対してのフォローもしたいと思っています。

これは私の考えなのですが会員の皆様にミニ卓話をお願いしています。近況等を発表していただいて充実した例会にしたいと考えています。

他クラブの例会への参加、地区への参加も必ず得るものがあるので、積極的にお願いしたいと思います。

地区への参加で自分が得たものは、他クラブの方達と意見交換ができたことです。ぜひ他の会員の方にも経験していただきたいと思っています。

RLIの受講もお願いしたいと思っています。

会員増強は今年度は3名増強が目標です。1名は塩毛会員のご紹介で既にいらっしゃいますので、あと2名、男女問わず増やして我孫子クラブを盛り上げていきたいと思っています。

奉仕活動として婚活プロジェクトというものを行っており、他クラブからもご好評いただいています。

そのような形で居心地の良いクラブにしていきたいと考えております。

第二部

委員会指針表明

我孫子ロータリークラブ



クラブ管理運営委員会 倉持委員長

クラブ管理運営委員会は積極的に参加できる風通しの良いクラブ作りを元に活動してまいります。ロータリーの基本は親睦と奉仕です。私達は親睦に重点を置き、会員の交流を深めたいと思います。

例会では会員の卓話のほか、外部卓話を定期的に取り入れる等工夫していきたいと思います。また例会を利用し、今までの活動についての話等、研修に力を入れます。

ロータリーは楽しくなければ継続できません。

部内の担当は、親睦は梶委員長、出席は野田委員長、プログラムは関根委員長、研修は依田委員長です。担当委員長を中心に会員の皆様にご協力をいただいて運営してまいりますので一年間よろしくお願いいたします。



猫田ガバナー補佐より

メーキャップ制度について何かお考えになっていらっしゃいますか。私は毎月メーキャップに行こうと考えておりますので、一緒にメーキャップをされたい方はお声をかけていただければお連れします。ぜひメーキャップという制度を忘れずにいてもらえればと思います。



奉仕プロジェクト委員会 柳田委員長

昨年度はコロナの影響を受け、最低限のことしかできませんでしたが、困窮家庭のための子ども食堂を企画しました。この活動は地区の方から昨年度、表彰もいただきました。ありがとうございました。

今年は我孫子の代名詞とも言える婚活プロジェクトを3年ぶりに再開します。このご時世ですので盛大にはできないかもしれませんが、実施させていただきたいと思います。ロータリーの紹介を受けた信頼ある方、お墨付きの婚活プロジェクトですので成功させたいと考えております。

我孫子市が行なっている手賀沼のクリーン事業、清掃活動に我孫子ロータリークラブとしての黄色いジャンパーを着て参加したいと思っています。

8月27日(土)に手賀沼の公園で我孫子カップまつりが行われます。昨年度の我孫子の会長、依田会員が実行委員長をされています。最後の10分間、手賀沼の湖畔で花火もあがるそうです。ぜひ参加していただければと思います。



野田会員より

3年ぶりの婚活プロジェクトということですが、現時点でのコロナ対策について教えてください。

柳田委員長より

3年前は11月に開催しましたが、今年度は2月か3月頃を考えています。

コロナ対策に関してはパーテーションとマスクが必要だと思うのですが、顔が見えない中での婚活は厳しいと思うので、何とかマスクをはずしてできればと思います。極力、感染対策はしっかりと開催したいと考えています。よろしくお願いいたします。



会員増強委員会 荒井委員長

会員増強はクラブにとって活力の源と言われています。今年は会員を3名純増することを目標に活動していきます。

初の女性RI会長、ジェニファー・ジョーンズ会長は、2023年までに世界のロータリー会員の30%を女性にするそうです。

我孫子クラブは32名中、女性会員は3名で9.3%となっています。女性会員の増強にも力を入れて活動していきます。

会員増強は元気なクラブを作る第一歩と考え、会員全員で情報共有をし、多くの仲間が増えるように活動してまいります。

活動計画として、

- 1 会員3名の純増
 - 2 会員紹介シートを利用し情報共有
 - 3 通常例会にオブザーバーを増やす
- 以上です。

猫田ガバナー補佐より

提案です。10月23日に2790地区ポリオデーというイベントがあります。その時にオブザーバーとしてお知り合いをお連れしてはいかがでしょうか。

Q：柏南クラブでは私が知っている限り候補の方の入会を反対したことはないのですが、我孫子クラブは候補の方でふさわしくない方はお断りしたと伺いました。今でもそうなのでしょうか。

荒井委員長より

私どもは末長く活動できる方を希望しておりますので、長続きしなさそうな方をお断りするケースはありました



ロータリー財団委員会 米田委員長

ロータリー財団は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。そのための寄付を働きかけていきたいと思います。

当クラブでも申請している地区補助金は皆様からの寄付金の半分が運用されており、3年後の地区奉仕活動資金となって返ってきます。寄付のご理解をいただければ幸いです。

活動計画として、会員一人当たりの目標寄付額は年次寄付150ドル、ポリオ30ドルとしました。ご協力の程よろしく願いいたします。



クラブ研修リーダー 依田委員長

近年はコロナ禍のために研修事業が開催できない状況でしたが、規制が少しずつ緩和してきましたので、今年度は対面の研修にも力を入れて行きたいと思います。研修というと嫌だと思う方がまだ多いということですので、気軽に参加できる研修を目指していきたいと思っています。

今年のRI会長は「ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出します」とおっしゃっています。会員が社会のリーダーとして成長できるように取り組んでいきたいと思っています。

入会5年未満の会員にロータリーの基礎知識を理解してもらうための研修を実施します。ベテラン会員を加えたファイヤーサイドミーティングを親睦を深めながら実施します。

また地区のRLIにも積極的に参加するように働きかけてディスカッション・リーダーを誕生させたいと考えています。



我孫子ロータリークラブ 服部会員より

前年度、卓話の時間の中で2度ほど研修をしましたが、「職業奉仕とはなんぞや」ということでテーブルディスカッションを行いました。皆さん意気軒昂に参加されていたと思います。

できれば例会が終わった後に1時間程、研修の時間を持ち、テーブルディスカッションを行うとよいのではないかと思います。ご検討いただければと思います。

依田委員長より

ありがとうございます。研修リーダーの今年のメンバーは瀧日会員、上村会員、塩毛会員で酒豪が揃っておりまして、テーブルの代わりに囲炉裏に変えてディスカッションできればと思っております。懇親も含めながら研修できればと考えています。

猫田ガバナー補佐より

DEIを語る上では、いろんなことを認めるということは何故そんなことが出てくるかを知る必要があると思います。そのためには研修が重要になってくると思います。

委員会指針表明

柏南ロータリークラブ

広報・公共イメージ向上委員会 竹村委員長

我々の委員会としては柏南ロータリーに関する情報や活動を一般の方々に提供し、イメージを向上するという目的でやっていきたいと考えています。

メンバーとしては委員長が私、竹村、副委員長の片岡会員、福田会員、米谷会員、高橋会員となっています。

具体的な活動としては広報誌を作ること、ホームページ、SNSを使って発信すること等です。インスタグラムに関してはなんとフォロワーが1500人おります。

海外のロータリアンにもフォローされています。福田会員が英語で情報発信してくださると海外のロータリアンやロータアクトの方々がリアクションしてくれます。

本年度の活動としては地域社会により貢献できるようにしていきたいと思っています。

こういうご時世ですので、紙媒体を極力縮小して、インスタ等のSNSでスピード感をもってメリハリをつけた情報発信をしていきたいと考えています。

吉川年度が始まって2ヶ月弱過ぎているのですが、皆さんお忙しいので広報誌が遅くなったり、SNSの更新がなかなかできなかつたりします。どうか暖かく見守っていただきたいと思います。

当委員会は無理なく、楽しく活動していきたいと思っております。皆様、ご協力の程よろしく願います。

社会奉仕委員会 高橋委員長

今年度、社会奉仕委員会では独居老人宅にお花を配る「ふれあい訪問」、ひとり親家庭等生活困窮者の子ども達の学習支援を行う「柏こどものみらいプロジェクト」、柏リレーマラソンでのミネラルウォーターの配布、青少年健全育成推進協議会主催のプロジェクト等を行う予定です。

今年度の新規事業としては防災体制構築、防災意識向上のために、地区補助金を活用して防災イベントを11月3日に行うことになりました。

地元のロータリークラブとして地域のために貢献できることがないかを考えました。また次世代リーダーの育成という観点で多くの子ども達が参加できるようにしました。

また、SDGsの17の目標の中の11、住み続けられるまちづくりを、という項目があります。今後、都市部の防災意識の向上が一層求められていると思います。

先日、チャーターメンバーの宮会員がご逝去されました。宮会員は地域への社会奉仕活動に精力的に取り組まれ、現行の活動も宮会員から引き継がれてきたものです。多くのことを教え、残してくださる先輩方に敬意を表し、本年度、新たな活動である防災イベントに全力で取り組みプロジェクトを成功させたいと思います。

青少年奉仕委員会 関口会員代理

井畑委員長が急遽欠席ということで、原稿を預かりましたので代読させていただきます。

ロータリーの奉仕活動は、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして青少年奉仕の5大奉仕部門があります。

具体的な当委員会の活動としては、ひとつは例年継続している国際ロータリーのプログラムの一つでもある、青少年指導者養成プログラム(RYLA)へ参加です。プログラムを通して、若者が様々な職業人であるロータリアンたちと語り合うことで人格の幅を広げ、リーダーシップに必要な創造力を養う支援を行います。詳細がわかり次第、皆様にお知らせしますので、その際はご協力の程よろしくお願いいたします。

もうひとつは社会奉仕委員会と連携した防災関連の奉仕プロジェクトの実施です。SDGsの17の目標の中の11、住み続けられるまちづくりを、というものがあり、災害に対する強靭さを目指す

いう項目があります。そこに焦点を当てた事業を考えて防災関連の奉仕プロジェクトを実施し、子どもたちの防災に対する意識向上に繋がるような支援を行います。詳細は改めてお知らせいたします。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

親睦委員会 岡田委員長

今年度、吉川年度は親睦に重きをおくということが年度が始まる前から伝えられていました。

毎年行われている納涼例会は8月2日に行われました。通常は11グループの皆様、ご家族の皆様もお誘いして盛大に行われていましたが、今年はコロナ禍ということで昼間のランチで開催させていただきました。

今後、クリスマス例会、新年例会を予定しております。当クラブの会員で柏神社の宮司様がいらっしゃいますので、新年例会の前に柏神社に集まり、お祓い、お清めをしていただきます。

観桜例会は来年3月28日開催予定ですが、廣池学園のキャンパスに咲く桜のもとで行われます。廣池学園まんりょうというレストランで毎週、例会を開催させていただいております。

廣池学園はナンジャモンジャの木があり、5月の例会でメーキャップしていただけるとナンジャモンジャの花が楽しめるのではないかと思います。

会員増強委員会と協力し合いゴルフ大会を企画しています。7月22日に参加してくださった方は入会が決まっているそうです。

夜間例会も優先的に行う予定ですが、1回目はコロナの影響で中止になりました。

納涼例会で披露された沖縄の三線の田中先生の元、月二回の予定で三線の同好会を今年立ち上げました。

会員増強委員会 米谷会員代理

本日、神委員長が欠席のため、代読させていただきます。

今年度、当委員会は新規会員を何名増やすということではなく、年度中に45名にするという目標でスタートしました。

どのように会員を増強していくかを考えました。先日、会員増強委員会主催のゴルフ大会を企画し、オブザーバーで来ていただいた1名の方の入会が決まりました。

また当クラブでは奉仕活動のひとつとして2019年10月に地区補助金を利用し、ケニアの貧困地域に出産施設を作してほしいという要望を受け、グローバル補助金を使い、この3年活動を行ってきました。大変でしたが、充実感や感動もありました。

こういった充実感や感動を共に感じながら活動しませんかと声をかけ続け、7月に2名、8月に2名、9月に1名の入会が決まっております。

組織にとって増強は絶対に必要です。増強委員会はさまざまなバランスを考慮しながら活動していく必要を感じます。

退会防止の観点からも積極的に活動に参加でき、また参加したいと思えるような環境作りを促していきたいと思います。

猫田ガバナー補佐より

10月23日の2790地区ポリオデーというイベントにオブザーバーとしてお知り合いの方に是非ご参加いただくようお願いいたします。

小倉ガバナーより

グローバル補助金の申請が非常に難しいとのことでしたが、他クラブのためにも出来たら申請のマニュアルのようなものを作っていただけたらと思います。

質問

柏南ロータリークラブ 戸部会員

小倉ガバナーにお聞きしたいのですが、私の所は観音寺というお寺で、うちの賽銭箱に、柏南ロータリークラブを通してウクライナに全て募金をする旨を書いておいたところ20万くらい集まりました。地区の方に聞いたら、ロータリーとしてはウクライナへの寄付はもう受け付けていないとのこと

でした。ウクライナへの支援は続けていく予定はあるのでしょうか。ロータリークラブを通して寄付をする旨をこれからも書いておいても大丈夫でしょうか。

小倉ガバナーより

窓口がなくなっているかもしれませんが、ウクライナへの支援活動は続けていくと思うので大丈夫だと思います。具体的にどういう支援をウクライナにしていけるかは財団委員会を中心にこれから検討していく予定です。

ガバナー総評

国際ロータリー第2790地区ガバナー 小倉純夫様



講評というより感想を述べさせていただきます。

我孫子ロータリークラブ、柏南ロータリークラブ、それぞれ特徴のあるクラブだと思います。

我孫子クラブさんに関しては婚活パーティーの活動をされていると伺いましたが、それがクラブ全体の奉仕活動としてされているのかがよくわかりませんでした。

柏南クラブさんのグローバル補助金を使ったケニアの奉仕活動ですが、素晴らしい活動だなと感じました。

先ほどお話しした通り、グローバル補助金の申請がむずかしいので、具体的にマニュアルを作っただいて地区全体に発表していただければと思っています。

会員増強については柏南さんはこれから45名の会員数を目標にしていまして頼もしいと思いました。クラブとしてのビジョン、行動計画をしっかり立て、クラブの活性化がはかれるのではないかと思います。私はクラブの活性化ということが自分のテーマだと思っています。

昨日、千葉ロータリークラブに行ってお話を聞いたのですが、千葉クラブさんは今120名位会員がいるそうです。そうすると会員同士で顔を知らず、あの人誰?ということがあり、会員のコミュニケーションをどうやっていくのかという問題があるそうです。あまり人数が増えると弊害も出てくるんだなと思いました。人数的には50~70人位で、お互いに顔がわかっているくらいが理想なのかなと思います。

我孫子クラブの藤本会長が風通しのいいクラブとおっしゃっていましたが、クラブに入って違和感、孤独感を感じることがあります。私は32年前に36歳位で入会した時、歌を歌うはで、最初は変なところに入っちゃったな、いつやめようかなと思っていました。4年目に幹事をやり自分の居場所が見つかり今に至っています。

最初に入って半年から1年位は違和感を感じると思うので、その時にフォローをするアドバイザーがクラブにいるといいと思います。

RLIには両クラブ共、積極的に参加してくださっていて言うことはありません。クラブによっては参加していないところもあります。是非RLIに参加していただきたいと思います。

柏南さんの防災意識を高める奉仕活動も興味深く、素晴らしいと思いました。社会奉仕だとか、青少年奉仕だとか、国際奉仕だとか区切っていますが、区切る必要はありません。

会員増強の時に入会の時のハードルが高いというお話がありました。おっしゃる通り、入会金もそうですし、例会への出席についてもメーキャップだとかいろいろ言われます。特に若い人は仕事の関係もあって例会に出られないことがありますので、夜間例会等を増やすといいのかもしれない。

柏南さんはケニアの活動や防災に関する奉仕活動等、非常に活発な奉仕活動をされていて素晴らしいと思います。ただ出席率がよくないので、今日来ただけで生意気なことを申し上げてしまうのですが、積極的に活動されている方とそうではない方とのギャップが大きいような印象を受けました。

我孫子さんは人数は少ないけれど一致団結して、まとまりのいいクラブかなという印象を受けました。

これから益々いい所を伸ばしていただいて、クラブのビジョンや活動計画を具体的に段階的に実現できるように立てていただければと思います。そうやってクラブの活性化をはかっていただければと思います。

失礼な発言があったと思いますがご容赦いただければと思います。ありがとうございました。

閉会の言葉

柏南ロータリークラブ 吉川会長

これをもちまして我孫子ロータリークラブ、柏南ロータリークラブの合同クラブ協議会を閉会といたします。今日はありがとうございました。

出席委員会報告

28名(出席免除者含む) 出席(全員で33名) 出席率84.84%
業務による欠席:石原会員、齋藤会員、福武会員、前田会員、湯下会員
ZOOMによる出席:小野会員、木村会員、古谷野会員、仲江会員
オブザーバー:木村政照様

今週の表紙「旧井上家」千葉県我孫子市相島新田1番地

手賀沼開墾に尽くした旧名主である井上家のお屋敷は、江戸時代には利根川舟運の主要な港町として栄えた布佐郊外の相島新田にあります。約150年前に建てられた敷地内の建造物は今も風格と格式を備えており、我孫子の歴史を伝える貴重な文化遺産です。相島芸術文化村の活動拠点でもあり、平成24年には我孫子市の指定文化財となりました。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。